

プラスチック出前授業のご案内



小学校での出前授業



中学校での出前授業

プラスチック教育を全面的に支援しています

2012 年度から中学校学習指導要領理科では身の回りの物質として「プラスチック」が新規項目として指定され、日常生活や社会の中で使用されている代表的なプラスチックの性質や用途などについて学習することが求められました。その後、2021 年度から実施されている中学校学習指導要領理科では、プラスチックに触れることと共に日常生活や社会で、幅広く利用されて私たちの豊かな生活を支えていることを理解することが求められています。

こうした動きに対して私たちプラスチック関係業界は、中学校理科教員との情報交換、教科書協会との情報交換、さらには中学校理科教員向け補助教材の開発など支援を行ってきました。また、私たちは現場に対しても、広く、専門家を派遣して、わかりやすく、質の高い授業を行うことでより理解を深めてもらおうと全国各地で積極的に出前授業を行ってきました。実際に出前授業を活用した学校からは「プラスチックに関して私たちが知らない様々なお話が聞けるので、特に、導入部として生徒たちの興味・関心を引き付けるにはとてもよい」という声を数多く届いています。子どもたちの知的好奇心を刺激するこの出前授業をぜひご活用ください。

<出前授業の連絡先>

塩ビ工業・環境協会	http://www.vec.gr.jp
総務部	Eメール: info@vec.gr.jp
	TEL 03-3297-5601 FAX 03-3297-5783
	〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1(六甲ビル 8F)

出前授業～調べてみようプラスチック～

1. 主旨

プラスチック原料やプラスチック製品に触れながら、実験を通してその性質の違いを知ると共に、プラスチックの原料であり、かつ貴重な地下資源である石油を大切に利用することや、使用後のプラスチックを資源として有効利用することなど、環境にも配慮しながら、持続可能な社会づくりに貢献するプラスチックを学ぶ啓発活動を目指しています。

2. プログラムの内容

- 1) プラスチックと石油の関わり：プラスチックの原料は有限な石油で貴重なもの。
- 2) プラスチックの種類と特徴：買い物袋（紙→ポリエチレン）、パイプ（鉄→ポリ塩化ビニル）など、身の回りのプラスチック製品の使用例を実際のものを示しながら説明。
- 3) プラスチックの違いを知る：汎用プラスチック 5 種類（ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン、ポリ塩化ビニル、ポリエチレンテレフタレート）を区別する方法として、水、飽和食塩水、50%エタノール溶液を用いて、密度の違いから区別する実験。
- 4) プラスチック製品のいろいろ：プラスチック製品を紹介。リサイクルやごみ問題も取り上げ、環境との関わりを説明。
- 5) 特殊な用途のプラスチックの紹介：日本の技術が世界中で活躍していることを、例を示して説明。

【対象】 小学校、中学校、高等学校、一般消費者

【プログラム実施の所要時間】 45分～60分

【必要経費】 謝金・・・不要 旅費・・・不要 材料費・・・不要

.....

出前授業申込書 （申込先: info@vec.gr.jp FAX 03-3297-5783）

学校名			
ご住所	〒 -		
ご担当教諭			
ご連絡方法	メールアドレス		
	TEL		
ご希望日	年	月頃	
クラス数	クラス	1クラスの人数	人